

## &lt;活動内容&gt;

## 1. スムーズな競技会準備と競技運営

- ・円滑な競技会運営の実施のために、大会開催競技場の施設・用器具の点検、及び大会当日の施設確認を行うことができた。  
また、他部署と多くのコミュニケーションをとることで、共通理解のもと、フィールド競技を中心に、競技環境、タイムテーブルに応じた適切な競技場所の決定、用器具の配置・撤収ができた。

## 2. 積極的な研修とルールへの熟知

- ・コロナ感染症まんえん防止の観点から、審判講習会は座学・実技とも中止となってしまった。  
しかし、ルール改正をルールブックや審判部より配付された資料をもとに、熟知し、意思統一を図ったため、競技に支障なく運営できた。

## 3. 県内各競技場の施設、用器具の管理徹底

- ・公認期限となった競技場の更新、マラソンコースなどの更新も滞りなく終了した。
- ・競技場からの要望（踏切板ボックス）が1点あったが、連絡を取り適切に対応した。
- ・競技場利用者からの質問（競技場での使用可能なスパイクピンについて）が1点あったが、利用者及び競技場と連絡を取り、適切に対応した。